

アンケート調査結果について	一般高齢者	認定者(サービス利用者)	サービス未利用者	特養入所希望者	認定者(サービス利用者)の介護者	サービス未利用者の介護者	特養入所希望者の介護者	ボランティア活動として取り組める内容
回収率	58.8%	51.0%	56.0%	46.0%				
1. 介護保険料について	※回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の場合には各選択肢の割合の合計が100%を超過しています。							
◆現在の保険料【1つのみ回答】								
①大きい	40.8%	24.5%	41.1%					
②やや大きい	23.1%	23.7%	30.4%					
③適当である	17.9%	31.0%	14.3%					
④やや小さい	0.3%	0.4%	1.8%					
⑤小さい	0.3%	2.4%	0.0%					
◆保険料の負担と介護保険サービスについて【1つのみ回答】								
①保険料が高くなってもできるだけ多くの介護サービスが充実していればよい	11.9%	12.4%	3.6%					
②保険料があまり高くないように保険で提供するサービスを限定する	45.7%	42.7%	50.0%					
③現状のままで良い	9.7%	24.9%	17.9%					
④介護サービスについては、保険の提供を受けなくとも、家族の介護や個人の負担で賄えばよい	2.7%	0.4%	3.6%					
◆特別養護老人ホームの整備に関する考え方について【1つのみ回答】								
①保険料は高くなっても施設を増やす	9.9%	11.2%		13.0%				
②保険料のバランスを取って必要最小限増やす	57.8%	59.4%		71.7%				
③保険料は高くなるのは困るから、増やさない	6.5%	3.7%		6.5%				
★介護保険料の負担については、一般高齢者、要介護認定者ともに、大きい・やや大きい傾向がある。また、未利用者については、さらに、顕著な評価となっている。保険料については、保険料とサービス利用のバランスを取って最小限にとどめる意見が多い。								
2. 介護予防事業について								
◆介護予防事業への参加の有無について【1つのみ回答】								
①参加したことがある	8.7%							
②参加したことがない	88.4%							
◆介護予防事業に参加しやすくなる条件【3つまで回答】								
①集会所等、歩いて行ける場所で開催されている	35.0%							
②保健センターや公民館等で定期的に事業が開催されている	18.1%							
③特別養護老人ホーム等の施設で事業が開催されている	1.2%							
④プールやスポーツジムで事業が開催されている	9.2%							
⑤市民による自主的な介護予防活動が定期的に開催されている	4.0%							
⑥自分にあった時間帯に参加できる	24.0%							
⑦地域住民による声掛けや誘い合いがある	8.8%							
⑧実際に参加した人の体験談を聞くことができる機会がある	5.2%							
⑨教室の内容や効果について、わかりやすく説明した資料がある	17.3%							
⑩佐倉市の歴史や文化、自然を活用した事業が開催されている	9.8%							
⑪往復の送迎がある	13.8%							
◆介護予防事業に関して、参加したいと思う活動【複数回答】								
①足腰の衰えなど筋力の低下を予防するための簡単な運動を行う教室	42.3%							
②寝たきりにつながりやすい骨折や転倒を予防するための教室	17.5%							
③認知症を予防するための教室	32.5%							
④心の健康づくりのための教室	22.1%							
⑤栄養状態の低下を防ぐことにより、健康的な体を維持するための教室	9.9%							
⑥簡単に調理できる工夫等を学べる教室	16.0%							
⑦飲み込む力をアップしたり、歯や歯ぐきなどお口の中の健康管理を	6.0%							
⑧介護予防全般について学ぶ教室	19.7%							
⑨住民主体で介護予防に取り組むための認知症予防や体操等のグループづくりを目的とした教室	9.4%							
⑩介護予防ボランティアを養成するための教室	4.4%							
★介護サービスについては、ほとんどの方が満足している。								
3. 介護サービスの満足度【1つのみ回答】								
ケアプランに満足+おおむね満足		80.6%						
デイサービス 満足+おおむね満足		89.8%						
★介護サービスについては、ほとんどの方が満足している。								
4. 介護保険サービスの利用状況【複数回答】								
			※今後の利用希望					
(1)訪問介護		22.7%	17.9%	20.7%				
(2)訪問入浴介護		6.3%	14.3%	10.3%				
(3)訪問看護		5.9%	14.3%	10.3%				
(4)訪問リハビリテーション		4.7%	1.8%	6.9%				
(5)居宅療養管理指導		3.3%	10.7%	24.1%				
(6)通所介護(デイサービス)		50.2%	21.4%	65.5%				
(7)通所リハビリテーション		17.6%	5.4%					
(8)短期入所生活介護(ショートステイ)		17.8%	14.3%	72.4%				
(9)短期入所療養介護(医療ショートステイ)		1.2%	12.5%					
(10)夜間対応型訪問介護		2.5%	10.7%	0.0%				
(11)定期巡回・随時対応型訪問介護看護		1.6%	10.7%	3.4%				
(12)認知症対応型通所介護		2.5%	7.1%	13.8%				
(13)小規模多機能型居宅介護		1.6%	7.1%	0.0%				
(14)福祉用具貸与		36.3%	23.2%					
(15)福祉用具購入費の支給		17.8%	19.6%					
(16)住宅改修費の支給		22.5%	10.7%					
★デイサービスの利用が顕著。福祉用具の貸与は、ベッド等介護看護として利用が多い。また、特養入所希望者では、ショート、デイの利用が顕著。今後、定期巡回、小規模多機能の在宅サービスの啓発等が必要。								

アンケート調査結果について	一般高齢者	認定者(サービス利用者)	サービス未利用者	特養入所希望者	認定者(サービス利用者)の介護者	サービス未利用者の介護者	特養入所希望者の介護者	ボランティア活動として取り組める内容
ケアマネ事業所アンケートより								
★ホームヘルプサービス(専門家でなければならないこと)	★ディサービスの利用理由							
・自宅での入浴介助が必要なケース	・機能訓練を受けているケース							
・食事等に配慮が必要なケース	・閉じこもり予防のためディサービスを利用							
・疾患に対する支援や配慮が必要なケース	・入浴支援のためディサービスを利用							
・専門職のスキルと信頼関係の構築が必要なケース	・疾患に対する対応が必要							
5. 介護が必要になった時どこで受けたいか【1つのみ回答】								
①自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい(※在宅でできるだけ長く)	38.4%			※30.4%			※21.7%	
②主に介護サービスを利用して、高齢者向け住宅に住み替えて暮らしたい	10.7%							
③数人で暮らせる、家庭的な介護付きホーム(施設)で暮らしたい	7.3%							
④介護施設(特養)に入りたい(※本人が入所を希望している)	13.6%			※4.3%			※4.3%	
※在宅が望ましいがやむを得ず入所させるしかない				※43.5%			※32.6%	
※在宅でなく、入所が望ましいと考えている				※17.0%			※17.4%	
◆特別養護老人ホームに入所申込をした理由【複数回答】								
(1)専門的な介護が受けられて安心だから				21.7%				
(2)すぐには入所できないので早めに申し込んでいる				45.7%				
(3)在宅では施設より金銭的な負担が大きいから				2.2%				
(4)本人の身体状況が悪くなり、介護の必要性が大きくなったから				28.3%				
(5)本人が入所を希望しているから				2.2%				
(6)病院や施設を退院する(予定である)が、その後の住居が未定				8.7%				
(7)住まいの環境上、在宅での介護が難しいから				19.6%				
(8)家族等の介護者が高齢や病気、ストレス等介護が厳しいから				39.1%				
(9)家族等の介護者が仕事をしているから				28.3%				
(10)同居者に乳幼児や病人がいて、介護負担が大きい				4.3%				
◆入所したい時期【1つのみ回答】								
(1)今すぐ入所したい				28.3%				
(2)3か月～半年後くらい先				4.3%				
(3)半年～1年先				10.9%				
(4)当面は入所しなくてよいが、必要になったとき入所したい				45.7%				
★一般高齢者・特養入所希望者ともに、在宅でできるだけ長く介護を受けたい。特別養護老人ホームへの入所時期は、直ちにということではなく、介護が難しい状況になった場合に、施設入所を考えている傾向にある。								
6. 自宅で暮らし続けるためには【複数回答】								※1つのみ回答
①住み続けられる住まいがある	70.1%	70.0%	58.9%					
②家族が同居又は近くにいる	61.1%	64.9%	55.4%					
③見守ってくれる友人・知人が近くにいる	28.6%	29.2%	12.5%					
④日中に訪問介護や通所サービス等、普段から利用できる介護サービスがある	42.5%	55.3%	28.6%					
⑤必要に応じて、通ったり、宿泊することができるようなサービスがある(※希望により宿泊もできるデイサービス)	37.1%	52.0%	19.6%	※26.1%			8.7%	
⑥入浴のみ、食事のみ、リハビリのみなど、短時間の通所サービスがある(※通所の希望に柔軟に対応できるデイサービス)	32.0%	40.6%	16.1%	※13.0%			2.2%	
⑦介護者の入院等緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる(※急な宿泊に対応できるショートステイ)	35.5%	51.4%	26.8%	※58.7%			26.1%	
⑧夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれるサービスがある(※24時間対応可能な自宅への訪問介護や訪問看護)	28.7%	35.5%	14.3%	※45.7%			19.6%	
⑨身近に利用できる医療機関がある	39.1%	54.9%	28.6%					
⑩自宅に医師が訪問してくれる(※医師の訪問診療)	32.7%	46.7%	26.8%	※52.2%			8.7%	
⑪自宅に歯科医師が訪問して診療してくれる	15.6%	26.7%	16.1%					
⑫いつでも利用(入所)できる施設が近くにある	31.8%	50.4%	23.2%					
★在宅では、どの項目においても必要。中でも、緊急時に対応する施設、医療機関が近くにあることを望んでいる。住み続けるために、福祉用具の貸与や住宅改修の利用。								
7. 日常生活で助けてほしいこと【複数回答】								
①ゴミ出し	2.6%	24.1%	14.3%		9.4%	5.4%		30.0%
②買い物	2.6%	28.8%	23.2%		11.6%	10.7%		22.1%
③調理	1.7%	22.7%	17.9%		10.0%	10.7%		6.8%
④洗濯や部屋の掃除	2.0%	30.8%	19.6%		11.6%	7.1%		6.8%
⑤玄関前や庭などの家周りの掃除	5.1%	26.9%	21.4%		9.8%	12.5%		31.1%
⑥簡単な力仕事	5.3%	29.0%	16.1%		11.0%	8.9%		25.3%
⑦病院への送迎	4.9%	42.5%	33.9%		24.3%	12.5%		14.7%
⑧病院への付き添いや薬の受け取り	1.0%	31.8%	17.9%		18.6%	8.9%		6.3%
⑨病院以外の外出時の送迎	2.0%	22.4%	21.4%		9.2%	8.9%		7.9%
⑩病院以外の外出時の付き添い	0.5%	17.5%	14.3%		6.1%	10.7%		4.7%
⑪声かけ・見守り	1.0%	19.0%	12.5%		7.5%	7.1%		50.5%
⑫日ごろの話し相手	2.6%	21.0%	14.3%		11.6%	10.7%		34.2%
⑬金銭管理・書類の確認	0.5%	11.0%	7.1%		5.1%	3.6%		2.6%
⑭市役所などでの手続き	2.0%	31.8%	12.5%		9.8%	5.4%		10.0%
⑮家電器具やパソコン等の操作	4.9%	11.4%	10.7%		4.5%	7.1%		8.4%
⑯代読・代筆	0.5%	—	3.6%					
⑰特になし	68.9%	10.4%	26.8%		12.4%	12.5%		
◆参考:通院の距離								
※事業所アンケート調査より上記以外の内容								
○集まる場所★集いの場の運営								
○体操(機能訓練)								
○相談の場所★介護予防教室の開催								

アンケート調査結果について	一般高齢者	認定者(サービス利用者)	サービス未利用者	特養入所希望者	認定者(サービス利用者)の介護者	サービス未利用者の介護者	特養入所希望者の介護者	ボランティア活動として取り組める内容
★病院や市役所など、主に移動関係について、苦勞している傾向がある。また、ボランティア活動への参加意向は、声かけ・見守り、話し相手、家周りの掃除、ゴミ出しの順に高い結果となった。								
8. 家族支援として望むこと【複数回答】								
①介護者の会などの介護者同士の交流の場					8.8%	0.0%	6.5%	
②公的な機関などの個人的な相談機関					13.1%	12.5%	10.9%	
③介護教室などの介護技術が学べる機会					8.0%	5.4%	6.5%	
④介護者がリフレッシュできるような機会					17.1%	12.5%	23.9%	
⑤認知症等の理解					6.1%	1.8%	4.3%	
⑥隣近所のボランティア活動					9.0%	3.6%	4.3%	
⑦保健福祉サービスの充実					19.6%	25.0%	37.0%	
⑧介護保険サービスの充実					31.2%	37.5%	50.0%	
⑨特別養護老人ホーム等の施設整備					27.8%	17.9%	47.8%	
★介護保険サービス・施設整備が多く占めている。また、介護者がリフレッシュできる機会を望んでいる。								
9. 介護の負担や悩みを感じる時は【複数回答】								
①体位交換、トイレの誘導など、介護のやり方にあまり自信がない					7.5%	7.1%		
②介護をすることが体力的にきびしい					13.5%	42.9%		
③介護を受けている人と体格の差があるため、介護が難しい					3.9%	10.7%		
④24時間目が離せないために、睡眠不足が続いている					5.1%	7.1%		
⑤介護にどう接していいかわかよくわからない					7.6%	21.4%		
⑥介護の大変さを理解し、介護に協力してくれる人が周囲にいない					6.1%	7.1%		
⑦自分が急病・急用時に代わってくれる人がいない					28.4%	42.9%		
⑧介護のために就業・家事・子育て等、自分の時間が持てない					8.8%	17.9%		
⑨介護保険サービスが十分でない					3.9%	14.3%		
⑩どんな福祉サービスが受けられるかわからない					10.0%	21.4%		
⑪経済的負担が大きい					9.0%	21.4%		
★介護の負担・悩みは、体力的にきびしいこと、介護者の急病・急病時に交代要員が不在であることなどが高い傾向にある。								
10. 介護保険制度で重点的に取り組むこと【3つまで回答】								
(1)介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実	34.9%	17.5%						
(2)介護支援専門員(ケアマネ)やサービス提供事業者に関する情報の提供の充実	17.3%	11.4%						
(3)苦情・相談窓口の充実	5.3%	4.7%						
(4)介護専門員の資質の向上支援	13.4%	10.4%						
(5)認知症高齢者などの権利を守るための制度の充実	4.9%	4.3%						
(6)低所得者への負担の軽減対策	22.4%	23.5%						
(7)介護予防や要介護度の進行防止のための介護予防事業の充実	11.6%	18.0%						
(8)家族介護負担を軽減するための施策・事業の充実	37.4%	32.4%						
(9)介護保険サービスの量や質の充実	18.0%	23.9%						
(10)保健・医療・福祉機関との連携・協力	19.2%	20.2%						
★地域での在宅支援								
1. 既存のサービスと同等のサービスが必要								
2. 生活支援								
3. NPO/民間事業者等の活用								
4. 住民主体のサービス等								
5. 外出支援								
6. 入浴関係								
7. 体制の整備								
★介護保険制度で重点的に取り組むべきこととして、家族介護負担の軽減、保険制度に関する情報提供、低所得者の負担軽減などの回答が高い傾向にある。								
11. 地域包括支援センターについて【1つのみ回答】								
利用したことがある	8.8%							
利用したことはないが知っている	13.9%							
場所や名前は知っている	28.7%							
知らない	42.9%							
⇒健康な高齢者への地域包括のPR								
12. H26年4～6月の間に介護保険サービスを利用していない理由【1つのみ回答】								
①病院に入院していたため					14.3%			
②特養、老健などの施設サービスの空きを待っているため					0.0%			
③利用希望サービスを申し込んだが、空きが無い等の理由で断られ					0.0%			
④サービスを利用せずとも家族の介護で生活できる					21.4%			
⑤サービスを利用せずとも自分の力で生活できる					12.5%			
⑥介護者が急病時等、緊急時のみサービスを利用したい					7.1%			
⑦短期入所サービスのみを利用したい					1.8%			
⑧住宅改修費や福祉用具購入費の支給のみを利用したため					7.1%			
⑨利用したいと思うサービスが無い					3.6%			
⑩サービスを利用するための手続きが複雑で面倒だから					1.8%			
⑪要介護者本人が家族・親族以外の介護を好まないため					1.8%			
⑫他人を自宅に入れたくないから					1.8%			
⑬外出したり、他人と関わりたくないから					1.8%			
⑭事業者とのトラブルがあったため					0.0%			
⑮利用料負担が大変だから					3.6%			
⇒介護サービスを利用していない理由として、「家族の介護」及び「自分の力」で生活できる要介護者が存在していることが明らかとなった。								